

7/14 金 横

日本の男女格差116位

労働参加下落 賃金差も低下 主要7カ国で最下位

イスの非営利団体「世界経済フォーラム」(WEF)は13日、世界の男女格差の状況をまとめた2022年版の「ジェンダー・ギャップ・報告書」を公表しました。日本が後退した要因として、WEFは報告書で、経済参画・政治参画の達成率が前年の60・4%(117位)から56・4%(-12位)に、「2016年と同じレベル」に下落したことを指摘。新型コロナ

スの日本は65・0%で、前年65・6%から後退し、順位も下位の一一位。主要指標の減少が男性よりも大きいことが、労働参加の達成率が84%から75%に大きく落ち込み、同一労働における賃金格差の是正も65・9%から64・2%に低下した。一方、世界全体の達成率は68・1%で、前年の67・9%からわずかに前進。トルコは、13年連続でアイスランド(90・8%)でし

たことが書いています。シ10位、フランス15位、英

国22位、カナダ25位、米国27位、イタリア63位で、日本

の達成率は前年と同じ6

・1%で、世界平均(22%)です。